



報道関係者 各位

NPO法人 放送批評懇談会

発表！2025年2月度ギャラクシー賞月間賞

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで62年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。2025年6月上旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。放送の専門誌・月刊「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース（<https://houkon.jp/galaxy-database/>）」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

Facebook



X (旧Twitter)



Instagram



＜お問い合わせ先＞

NPO法人 放送批評懇談会

MAIL : kondankai@houkon.jpHP : <https://www.houkon.jp/>



2025年2月度ギャラクシー賞月間賞

第39回民教協スペシャル「時給10円という現実～消えゆく農民～」

2月8日放送 10:30～11:25 山形放送

三里塚闘争のなかで知り合い結ばれた菅野義秀・佐智子夫妻。曲折を経て山形県で就農するが、減反政策をはじめとした国・行政の悪手に翻弄される。しかしこれにしぶとく抗い、先鋭的な農業実践活動を行ない続けた二人。その軌跡を軸に日本の農業・食糧事情を俯瞰的に検証し警鐘を鳴らす。「小農」「国民皆農」の概念は刺激的。

特集ドラマ「憶えない殺人」

2月22日放送 21:00～22:30 日本放送協会 NHKエンタープライズ

リタイアした寡夫の元警官が、認知症を患い記憶が覚束なくなり始めたところに降り掛かってきた身に覚えのない殺人容疑。この疾患特有のまだらのような部分的記憶喪失、それが故の深々とした自信喪失と極限的不安の様態は、小林薫の好演もあり迫ってくるものあり。「認知症の人だって理性もある感情もある尊厳もある」の科白は重く響く。

NHKスペシャル 臨界世界—ON THE EDGE—「女性兵士 絶望の戦場」

2月23日放送 21:00～21:50 日本放送協会

「女性の軍隊」となっているウクライナ軍。彼女たちは全員が志願兵。ドローン等で闘う前線もあるが、最前線で戦って重症を負ったり、子どもと自らの士気の板挟みになりながら戦場で負傷兵の応急手当や遺体の回収をしたり、英雄視される一方長引く戦争で絶望感に襲われたりと残酷な現実が衝撃的だ。痛ましい映像の連続に身体が震えた。

ドラマ10「東京サラダボウル」

1月7日～3月4日放送 22:00～22:45 日本放送協会 NHKエンタープライズ

外国人労働者の存在なくしてはもはや成立不能な日本社会。しかし彼らの置かれている環境は驚くほどに劣悪で何ら改善される兆しもなく、そんな苛酷な環境には着実に悪辣な犯罪集団の手が陰湿に伸びてくるといふ現況。この深刻な局面を極めてリアルに踏まえた社会派人情活劇は見応えあり。奈緒、松田龍平ら役者陣の好演も目に残った。

★詳細は月刊誌「GALAC」2025年5月号に掲載します